

起

八月二十九日平成 17 年、ミシシッピ州 ビルオシリーズに台風を来しました。

私の家族と私は十未満のマイルスカ十六未満のキロメートル家から海まで住みました。

私の六歳の時、台風にあったことはありませんでした。

天気予報の人に依じてビルオシリーズに小さい嵐を来ってニューオーリンズに台風を来ると言っていました。

アメリカに台風を名付けます。小さい嵐をますます大きくなるから、台風はカトリーナを名付けました。

わたしの故郷にカトリーナを来って以来、生活が再び同じにならないことを知っていました。

承

子供の時、台風をわかりません。

フロントドアを通して水を入りと思いました。

家の中に泳ぐと思いから、うきわをしました。母は私をしって見つかりました。

” ハニー やめなさい。およぎません。”

家を守なくてはいけながら、まどを板でふさかいで屋根裏に用品を置きました。

残念ながら、貴重な家族の家宝を取りのがれました。

カトリーナは水で家を埋めると同時に家族と私は屋根裏に行きました。

カトリーナは水の五フィート家をつめました。

台風においては母と家族の友達は屋根裏の端でタバコを吸ってそばと私は水で犬を泳ぎました。

突然、母は叫ぶのを聞きました。

悪い台風があるのに近所の人の家は二軒下の家丘の上でカトリーナを当てられませんでした。

近所の人私の家族と私を助かるのを来しました。

転

夜にカトリーナが消えました。

私の家族と私は近所の人家に寝るのが安全なのに、朝日私は目を覚めて寝るとともに、ショートパンツをおしっこするのが見つけました。

消防士は近所で生存者を助けてくれました。

消防士は家のフロントドワを壊して、私のバービー人形だちは迎えるのが溢れ出しました。

私の家族は何事を除去せって、別れました。

家がせわをするから、そばはそばのおねえちゃんの家泊まりました。

私と母はミシシッピ州サウスヘブンに住んでいました。

家に戻ってそば住む前に、一年間たちました。

結

カトリーナにあったことがある以来、私はカトリーナに成長して大人をならせられました。

若い私はカトリーナを来るのに、私の子供時代を済みました。

私は早く成長させられるから、私がせわのしかたって独立した人になるのが習いました。

今、私は弾力性の人ですよ。私は早く人生をなれるのが知ります。

私はカトリーナにたくさん何かを失うのに、いつも家族と自分をいます。